

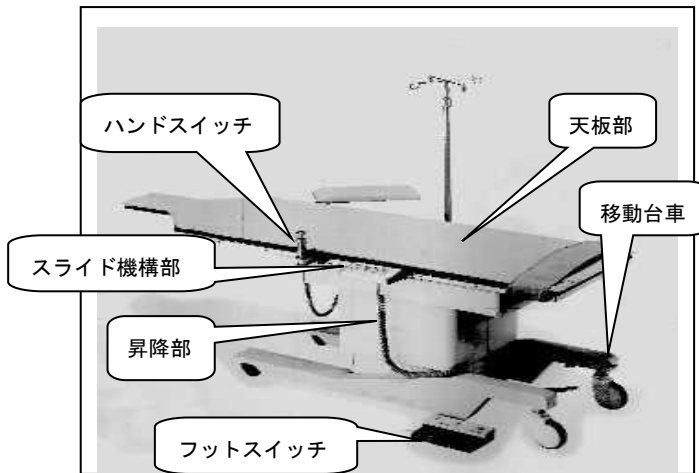
【形状・構造及び原理等】

1. 形状

本装置は、以下の各ユニットから構成されます。

標準構成

- 1) 昇降部
- 2) スライド機構部
- 3) 天板部
- 4) 移動台車
- 5) フットスイッチ
- 6) ハンドスイッチ



2. 原理

本装置は、移動型デジタル・アナログ汎用一体型×線透視装置を必要とする平面画像の場合に被検者の位置決めをしたり保持するよう設計されている。スライド機構部とそれを保持する昇降部と被検者を載せる天板部で構成され、フットスイッチ及びハンドスイッチ操作で昇降部は電動で上下移動、天板部のロックを解除すると手動で長手、短手方向にスライドさせることができる。

(長手は一部電動式でスライドさせることができる。)

3. 電氣的定格

AC100V 50/60Hz 1 kVA

4. 機器の分類

電撃に対する保護の形式による分類：クラスⅠ機器

電撃に対する保護の程度による装着部の分類：

B 形装着部を持つ機器

【使用目的又は効果】

本装置は、循環器×線診断装置用電動式患者台として平面画像の透視の際に被検者を保持します。

手動操作（長手は一部電動式）に天板が長手、短手方向に移動ができ、固定はオフロック式電磁マグネット、天板部はフットスイッチ又はハンドスイッチ操作により上下移動ができます。

【使用方法等】

1. 設置方法

装置の設置は傾きの無い様に必ず移動台車を固定して設置すること。

電源コンセントはアース付 3 P を使用すること。

2. 使用方法

検診台の天板部をスイッチ操作で最低高さまで下げ、踏み台等を利用して被検者を載せ、スイッチ操作で透視、撮影の高さに合せます。移動型汎用一体型×線透視診断装置と透視部位に位置合せのためフットスイッチの LOCK 又はハンドスイッチで固定を解除し天板部を移動させ×線透視、撮影をします。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- 1) 未整備の状態で使用すると、部品の落下や装置の転倒、破損による健康被害や火災発生につながる恐れがあります。
- 2) この装置は防爆型ではないので、装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。
- 3) 設置上の注意として、装置の設置は傾きの無いように設置してください。キャスター付きのため不安定になり正常な動作ができなくなります。
- 4) 被検者の乗り降りには、十分注意すること。保持装置との干渉によるケガや転倒及び手をはさむなどの恐れがあります。
- 5) 耐荷重 135kg を超える荷重をかけないこと。135kg は附属品により異なる場合もあるため、取扱説明書で確認すること。なお、耐荷重とは被検者体重、補助具などの附属品等の全ての重量を含む。天板上で心臓マッサージなどの負荷をかけた場合には、天板が破損するおそれがあります。
- 6) 被検者、操作者、介助者は装置の可動部分や装置と壁や床等に挟まれない様に常に注意を払うこと。
- 7) 被検者を天板部に乗せた状態で移動させる場合は、天板フレーム部の下側より手、指が出ていないことを確認してから天板部のスライド、上下操作をすること。すきまに指をはさむ恐れがあります。
- 8) 天板部の先端部に座ったり、立ったりしないこと。
- 9) 被検者はなるべく天板部中央に乗るように指示し、天板部上で体位を変える場合は、転倒、落下に注意し、天板部から手、足がはみ出さないように注意すること。
- 10) 装置本体の故障で高い位置での乗り降りはしないようご指導願います。踏み台を利用するか、介添え者の補助で乗り降りを行ってください。
- 11) 被検者を載せたまま装置本体を移動しないこと。
- 12) 装置本体を移動させる時は手足を挟まないように注意すること。
- 13) 装置本体の移動後は必ずキャスターを固定すること。又、傾斜地で使用・停止しないこと。

- 14) アンカーボルト等による床固定ができないため、地震等の天変地異の際はすみやかに当該撮テーブルから離れて被検者及び操作者の安全を確保すること。
- 15) 使用後は天板部を中心位置に戻してください。装置本体を移動させる場合フレーム部分を持つと手を挟みます。
- 16) 装置本体を移動する場合、キャスターの位置によっては初期の力がかかりフレーム部分を持っていると天板部が移動し手を挟む恐れがあります。
- 17) スライド機構部を持ってキャスターが段差に乗り上げると本体に衝撃を与え故障の原因になります。
- 18) 高齢者、小児等、介助者が必要な場合の検査は介助者を付けること。
- 19) 指定された機器以外の装置を接続した場合、所定のEMC性能（電磁両立性）を発揮できない恐れがあるので指定機器以外は接続しないこと。

〈妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用〉

妊婦、妊娠の疑いのある者、授乳中の者、及び小児へ使用する場合は医師の指示のもとで慎重に行うこと。

【保管方法及び有効期間等】

動作保証条件（撮影室内）

温度 10～40℃ 湿度 30～85%RH 気圧 700～1060hPa
結露しないようにご注意ください。

〈耐用期間〉

10年〔自己認証（当社データ）による〕

（但し、指定された使用環境において標準的な頻度で使用され、指定の保守点検と定期交換部品・消耗品の交換をした場合の年数であり、使用状況によっては異なる場合がある）

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検（日常点検）〉

- 1) 目視による点検
- (1) 外観の確認
装置の外観に異常がないことを確認すること。
 - ・ ケーブル、附属品などに損傷や磨耗がないこと。
- (2) 清浄性の確認
清浄な状態であることを確認すること。
 - ・ 装置に被検者の体液、血液、汚物及び造影剤等が付着していないこと。
- (3) 装置周辺の確認
装置の妨げになる物がいないこと。
- 2) 機能の確認
- (1) 装置の正常状態の確認
装置の正常状態・正常動作を確認すること。
 - ・ 可動部の動作
 - ・ 装置（附属品含む）の動作
 - ・ 異音、異臭がないことを確認すること。
- (2) 装置の固定状態の確認
装置（オプションの患者グリップや附属品含む）の固定を確認すること。
- (3) 安全機能の確認
所定の安全機能が正常に作動することを確認すること。

- (4) 故障時の対応
修理が完了するまで装置の使用を禁止するよう指示・表示をしてください。人身事故や火災発生につながる恐れがあります。
- (5) 洗浄・消毒
 - ・ 本装置を清掃する際、シンナーやベンジンなどの溶液やコンパウンドなどの研磨剤を含むものを使用しないこと。
 - ・ 金属やゴムに対して強い腐食性を持つ塩素系消毒剤、または消毒剤の取扱説明書に金属・プラスチック及びゴムの内一つでも使用が不適と注意書きのある消毒液を使用しないこと。

詳細は取扱説明書を参照すること。

〈定期交換部品及び消耗品〉

特に設定はしておりません。使用頻度、操作方法、経年劣化による部品交換が発生する場合があります。

- ・ 上下駆動用アクチュエータ
デューティーサイクル 10%（動作 2 分休止 18 分）を超える操作をした場合に耐久性が劣る事があります。
- ・ ガススプリング
- ・ リレー、スイッチ等はメーカーが指定する定格の範囲内で耐久性は 10 万回（参考値です。）

〈業者による保守点検〉

1 年ごとの定期点検を弊社または弊社の指定する業者に依頼すること。

項目	点検時期	点検内容
上下動昇降動作	1 年	アクチュエータ取付け部 ガススプリング取付け部 確認
各部重要固定部	1 年	固定ねじの増し締め

詳細は取扱説明書を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：三共医療機株式会社

住所：大阪市平野区加美東 6-14-22

〔販売業者（販売店）〕